

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 井上
日 時	令和3年6月25日(金曜日)	開 議 閉 議	午前10時15分 午前10時35分
出席委員	◎木村 ○浅田 三上 山本 松山 小松 齊藤 石野		
執行機関 出席者			
事務局	井上事務局次長		
傍聴	可	市民 0名 報道関係者 0名	議員 0名()

会 議 の 概 要

10 : 15

1 開議

2 委員長報告の確認

<木村委員長>

— 委員長報告の朗読 —

— 全員了 —

3 その他

(1) 議会だよりの内容確認

<木村委員長>

別紙のとおり、議会だよりの原稿について確認願う。

<齊藤委員>

書類の押印についてであるが、「厳密な本人確認が必要な手続き」の例があれば分かりやすいのではないか。これからも印鑑が必要となる書類の中で、最も多いものを書いておけば、市民に分かりやすいのではないか。

<事務局次長>

第三者が書く委任状には、押印が必要であると聞いている。亀山城の写真を小さくすれば、文言を入れることができる。

<三上委員>

「厳密な本人確認が必要な手続き」という文言を消して、「第三者による委任状などは引き続き押印が必要になる」とすればよいと思う。そして、「可決（全員賛成）」の後に、「質疑した主な内容」という文言を入れてほしい。また、質疑の中で明らかになったことということで、1, 500種類は全体のどのくらいの割合になるのかという質疑があったので、全体の約9割ということも入れたほうがよいと思う。

<木村委員長>

以上の意見を踏まえて、文言修正は正副委員長に一任願う。

(2) 防災備蓄倉庫の視察について

<木村委員長>

次回の委員会は、7月12日（月）に防災備蓄倉庫の視察を行うことになっている。
午前9時に市役所正面玄関を出発するのでご参集願う。視察に関して意見はあるか。

<松山委員>

全ての防災備蓄倉庫を見ていくが、今後、課題になってくるのは、防災備蓄倉庫がどのように使われているのか、各避難所にはインターネットWi-Fiが接続されているのか、各学校に置かれている防災用電話がどのように使われているのかといったことに派生していくと思う。視察するにあたり、気になること、他市の防災備蓄倉庫の取組のことなどを議論した上で、視察に行くほうがよいと思う。

<木村委員長>

せっかくの機会なので、松山委員が言われた内容も聞く中で視察したいと思う。

<松山委員>

京都スタジアムの防災倉庫の中に何が入っているかという資料は以前もらったが、それがどのように活用され、今後、どのように運用していくのかという話はなかった。
京都スタジアムへ見に行くのがよいかどうか、協議できればと思う。

<事務局次長>

京都スタジアムの防災倉庫は、今秋の防災フェスタで公開されると聞いている。総務文教常任委員会として見に行くということであれば、京都府にお願いすることになる。

<松山委員>

防災フェスタでは、運用方法も市民に周知されると思う。もしも亀岡市にとって不備なことがあれば、市民に周知した後の話になってしまうので、事前に確認すべきだと思う。

<木村委員長>

運用の資料はないのか。

<事務局次長>

確認してみるが、京都府の施設であるので、市に来てもらって説明してもらうということはできないかもしれない。

<木村委員長>

松山委員は、運用の仕方を理解しておくべきだと言われているので、資料を出してもらえばどうか。

<松山委員>

確認でよいと思う。市民にとっては、府も市も関係ないので、市としても知っておくべきだと思う。

<木村委員長>

運用の仕方や備蓄品についての資料を出してもらおうようお願いする。
これにて散会する。

散会 ～10:35